

臨床美術の  
現場から

38

「自分だけの絵」を生み出す  
楽しさを

■特別養護老人ホーム 湖  
湖ケアセンター デイサービス【神奈川県秦野市】

## ❖ 地元施設でのご縁

都内高齢者施設で臨床美術講座を実施している法人が、秦野にある系列グループの施設での導入を検討していました。講座実施を通じて認知症の方に有効な裏付けのある美術療法として効果を実感されていたとのこと。その講座を担当していた先輩臨床美術士から、地元秦野の臨床美術士として法人の理事長にご紹介頂いたのがきっかけでした。まだまだ臨床美術が知られていなかった当時、地元施設で臨床美術を導入されることに感激したことを覚えています。

ほどなく湖ケアセンターデイサービスでの導入が決まり、以来2011年から臨床美術講座を実施しています。



2021年10月からの講座リニューアルでクラスが増え、現在週8クラス約50名の方が参加。3名の臨床美術士が在籍し、1講座を2名の臨床美術士で実施しています。

## ❖ 地域色を活かしたプログラムも

自然に囲まれ農業が盛んな地域柄、みかん農家さんも多くいらっしゃいます。ご家族に「みかんを描いて」と言われたとお声を受け、旬のみかんを描くプログラムを実施したこともありました。

「うちのみかん」の話で制作前から盛り上がります。みかんの香りを嗅ぎ、瑞々しい皮の色を紙の上でいくつも重ね、育てるように描いて、畑のみかんに負けないくらい美味しそうな作品が完成しました。ご家族もとても喜んで作品を飾ってくださったとのことでした。

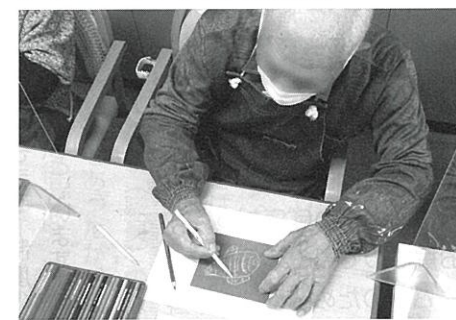
## ❖ 今日の「自分だけの絵」に出会う

午前クラスが終わり、参加者様が自席に戻ると、「どんなことをやったの?!」と午後クラスの方が興味津々。こんなテーマで、こんな描き方で…おお、なるほどなあ、とクラスが違う参加者様同士も和気あいあいと臨床美術談義をしておられます。

「今日は何を描くんだろう?」と皆さん毎回違うテーマや技法、材料だけでなく、新しい「自分だけの絵」にワクワクされていることが伝わります。



里芋の触感画の制作風景 (以後同じ)



## ❖ より多く、幅広く臨床美術を届けたい

講座の最後に作品を一点ずつ参加者様全員で観る鑑賞会を行います。参加者様の誇らしい笑顔を見て、職員さんが「臨床美術の力だね」と言ってくださいました。

施設の新人職員研修に、普段の講座と一緒に参加する形での体験受講が組み込まれています。「あなたはあなたのままで素晴らしい」という臨床美術の理念は、介護にもとても大切なこと。お一人お一人がどうやって描いているのか、臨床美術士がしっかり観察しているから、鑑賞会で皆さんが笑顔になる声掛けができる。制作だけでなく鑑賞会まで参加して臨床美術士の対応や声掛けを見てくるように、と教育担当職員さんが言ってくださっているそうです。

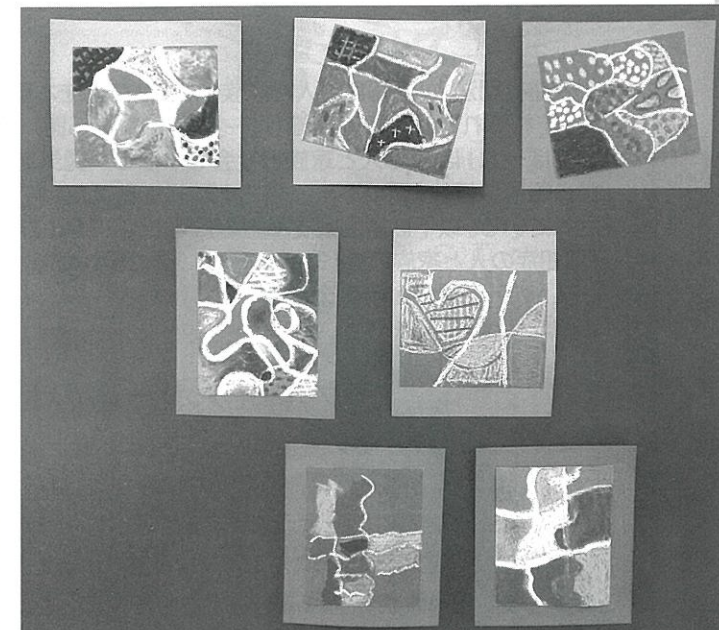
講座リニューアルを機に、より介護との連携を深め、臨床美術とコグニサイズ\*を2本柱としたケアを展開、MCI(軽度認知障害)への取り組みにもいっそう注力していくことになりました。

これからもたくさんの利用者様に『自分だけの作品』を創る楽しさを感じ、生き生きと過ごす一助になれるよう尽力していきたいと思っています。

【臨床美術士 多田敏子】

\*コグニサイズ(cognicise)  
コグニション(cognition、認知)とエクササイズ(exercise、運動)を組み合わせた造語。国立長寿医療研究センターが開発した。頭で考えるコグニション課題(計算、しりとりなど)と身体を動かすエクササイズ課題を同時に行うことで、脳と身体の機能を効果的に向上させることが期待される

\*表紙掲載作品\* アートプログラム名:「里芋の触感画」 制作者:湖ケアセンター デイサービス臨床美術参加者



紙やすりに描く色面デザイン

## ◎みかん・こ ケアグループ

◎社会福祉法人 輝星会  
特別養護老人ホーム 湖、デイサービス 湖、  
ケアハウス 星、グループホーム こ・みかん  
◆特別養護老人ホーム 湖  
〒257-0015 神奈川県秦野市平沢入窪  
2426-1

TEL : 0463-84-6565  
FAX : 0463-84-7378

## ◎医療法人 北條会

老人保健施設 みかん、デイケア みかん、  
グループホーム そば、デイケア こ・みかん

施設 URL : <http://hadano.or.jp/>

## アートセラピー「臨床美術」とは

絵やオブジェなどの作品を楽しみながら作ることで脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる芸術療法(アートセラピー)のひとつです。

1996年に医師、美術家、ファミリーケア・アドバイザーがチームとなって実践研究をスタートさせました。医療・美術・福祉の壁を越えたアプローチが特徴の臨床美術は、介護予防事業など認知症の予防、発達に気になる子どもへのケア、小学校の特別授業、社会人向けのメンタルヘルスケアなど多方面で取り入れられ、いきいきと人生を送りたいと願うすべての人へ希望をもたらしています。

◆芸術造形研究所ホームページ  
<http://www.zoukei.co.jp/>

◆日本臨床美術協会ホームページ  
<http://www.arttherapy.gr.jp/>